

第6回横浜港シェアリングエコノミー研究会 議事概要

日時：令和4年10月11日（火）14:30～15:30

場所：横浜第二合同庁舎 13階 131・132会議室（オンライン併用）

■議事

- (1) シャーシシェアリングの検討経緯
- (2) 第2回シャーシシェアリング実証実験の実施内容等
- (3) 研究会の今後のスケジュール

主な意見は以下のとおり。

【陸運事業者】

- ・予約の変更・キャンセルがシステム上でいつでも可能となること、シャーシプールの利用時間が24時間に拡大されること、空コンテナのオンシャーシ駐車も可能となること等、今回の変更によって、実務面ではかなり利便性が向上する。
- ・今回の実証実験ではシャーシの貸出・返却可能時間が24時間に拡大され、非常に使いやすくなる。
- ・前回の実証実験に引き続き、積極的に参加して状況を確認したい。シャーシプールが二箇所を増えているので、使い勝手はよくなっていると思う。
- ・今回、実証実験としては第2回となり、いろいろ拡充・改善されているが、実証実験終了後に課題など明らかになると思う。よりよいシャーシシェアリングが実現されるよう協力したい。
- ・前回の実証実験と比較して使い勝手がよくなるので、積極的に利用していきたい。今後の課題等出てくると思うが、皆さんと力をあわせてやっていきたい。2024年問題もあるので、こういうところで利用できれば良い結果が出るのではないかな。
- ・総論としては取組に賛成しているが、まだ社会実装に向けた効果検証の段階である。今後、社会実装に向けて有益なものにするためには、いろいろな課題がある。実装効果が望めるようなフェーズに移行できるように取組に協力したい。
- ・今回の実証実験では、シェアリング用シャーシプールはシェアリングシャーシの駐車に限定しているが、自社シャーシに積み置きしたコンテナをシェアリング用シャーシプールに仮置きし、シェアリングシャーシに付け替えて次の業務に行けるようになると、さらに走行距離の削減になる。今後、ぜひ検討していただきたい。

【事務局】

- ・今回の実証実験では、前回の実証実験を踏まえて様々な改良を行っている。変更点については、実証実験でシェアリングシャーシを活用いただき、使用面等について確認していただきたい。

【陸運事業者】

- ・シェアリング用シャーシプールが2か所に増えることで利便性は向上すると想定される。しかし、本牧ふ頭のシャーシプールはA突堤であるため、コンテナターミナルから離れており、立地の検証が必要になると考える。

【事務局】

- ・本牧ふ頭 A 突堤のシャーシプールは、コンテナターミナルから少し距離があるかもしれない

が、複数箇所設置したことの効果の把握のため、積極的に利用頂き効果検証に協力いただきたい。

【陸運事業者】

- ・社会実装の際は、シャーシプールのセキュリティ管理として、CONPAS のように PS カードで入退場の管理ができると良いと思う。
- ・シャーシの位置管理技術は進歩しており、ミリ波レーダーでオンシャーシかどうかを判定できるものがある。バッテリーの保ちが課題だが、加速度センサーを活用すれば、移動中なのか等を判定しバッテリーの消費を抑制することもできる。このような端末を用いたシャーシの稼働率の定量的な把握等により、シャーシの管理者はより効率的な貸出方法など運営へ活用できるのではないかと。

【事務局】

- ・運営方法を考えていくあたり、加速度センサーなどの機能の活用も検討していきたい。

【陸運事業者】

- ・2024 年問題に関する指摘があったが、この取組により、労働時間の短縮につながることを、もう少し目的に入れられないか。また、環境対策についても言及していただきたい。我々は、一般貨物運送事業者として港湾運送事業エリアで仕事をしている。港湾局や港運事業者にも理解していただくためにも、環境問題や労働問題を謳うことで説得力が出てくるのではないかと。ぜひお願いしたい。

【事務局】

- ・シャーシシェアリングについては、環境問題や労働問題に対する効果も想定している。今後、示していきたい。

【陸運事業者】

- ・陸運事業者自身の問題となるが、今後、シャーシシェアリングに不特定の事業者が参加することになった時、ルールを破るような事業者が出てきた場合にどうするのかということも検討しておいた方がいいのではないかと。例えば、参加させないとか、ペナルティを与えることなどある程度明記しておいた方がいいのではないかと。

【事務局】

- ・シャーシシェアリングの社会実装にあたって、参加に関するルール化は重要な検討事項と考えている。

【関係団体等】

- ・国際コンテナ戦略港湾において重要な取組と感じた。また、人口減少が進む中で重要になってくると考える。
- ・実証実験で課題が明らかになっていくと思う。場所をどうするのか、シャーシプールを複数設置するなら何箇所が最適なのか、実際にどの事業者が運営するのかといった課題も明らかになっていくと良いと考える。

【事務局】

- ・実証実験を通じて検討していきたい。

【関係行政機関】

- ・本実証実験を通じて、待機時間短縮など効率化が進むことを期待する。実証実験を通じてよい方向に進むよう、協力していきたい。

【事務局】

- ・実証実験及びその後の社会実装に向けて、引き続きご協力頂きたい。

以上